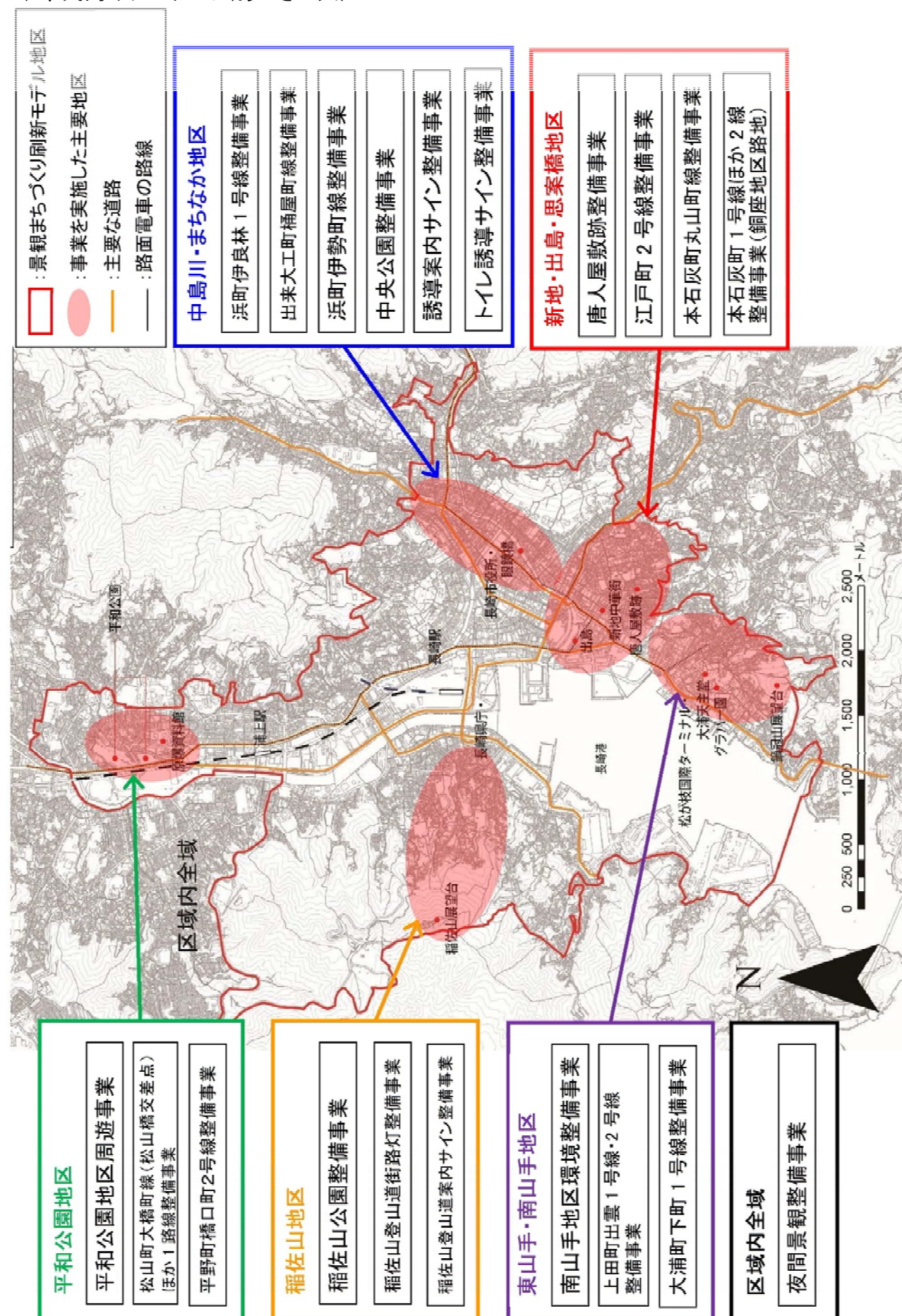


2.3 本調査の調査票

① 市民向け調査票

1-1) 市民向けアンケート(あいさつ文)



長崎市の景観まちづくりに関するアンケート調査ご協力のお願い

令和6年10月
長崎市長 鈴木 史朗

長崎市民の皆様へ

市民の皆様におかれましては、日頃より市政にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

長崎市には、世界新三大夜景の「夜間景観」や、世界遺産の旧グラバー住宅及び大浦天主堂をはじめとする様々な歴史的建造物がある「まちなか地区の景観」、そして平和の尊さを世界に発信する「平和公園地区の景観」など、他の都市にはない豊かな景観があります。こうした景観の魅力をさらに磨き上げることで、交流人口の拡大により地域活性化を図る「交流の産業化」に取り組んでいます。

そこで景観を生かしたまちづくりを一層進めるため、国から全国10都市の「景観まちづくり刷新モデル地区」の指定を受け、国の支援のもと平成29年度から令和2年度の4か年をかけて景観の整備を実施しました。つきましては、長崎市の景観整備に関する市民の皆様のご意見を今後の景観まちづくりの取り組みに活かしていきたいと考えております。ご多用中の折、恐縮ではございますが、本アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

○アンケート調査の対象者

- ・本調査は長崎市内にお住まいの方から、無作為に選んだ2,000人を対象に実施します。

○アンケートの利用について

- ・ご回答いただいた内容については、全て統計的に処理され、回答者が特定されることはありません。ご回答いただいた内容は、本調査の目的以外に使用することはありません。

○調査期間と回答方法について

- ・**11月5日(消印有効)**までに以下のいずれかの方法で回答をお願いします。
 - ①同封の返信用封筒に回答した調査票を入れていただき、郵便ポストへ投函
 - ②右のQRコードから回答フォームにアクセスして回答
- ・返信用封筒に回答される方のお名前やご住所を記入する必要はありません。



本アンケートのお問合せ先

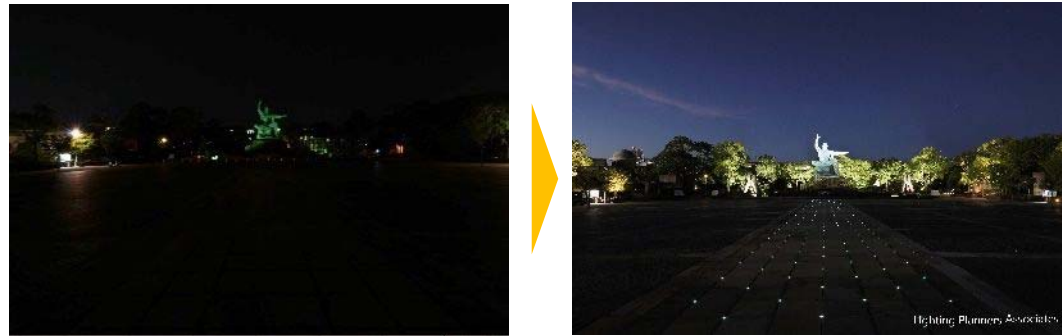
【調査の実施主体】長崎市まちづくり部 景観推進室 担当: 中井・岩谷
〒850-8685 長崎市魚の町4-1 電話: 095-829-1177
【調査の委託先】株式会社ペック 技術部 担当: 天野
〒850-0004 長崎市下西山町7-1 電話: 095-824-6677

ページをめくって、景観まちづくり刷新事業の完成図をご覧ください。

長崎市景観まちづくり刷新事業の成果写真(一例)

3つのコンセプト ①夜間景観の刷新 ②祈りの景観の刷新 ③まちなかの景観の刷新 に基づき、令和2年度までの4年間、集中的に景観整備を行いました。

■平和公園エリア(祈りの景観・夜間景観の刷新)



祈念像地区(夜間景観の刷新)



天主公園(公園のリニューアル)

■中島川・寺町エリア(まちなかの景観・夜間景観の刷新)



寺町通り・光永寺(夜間景観の刷新)

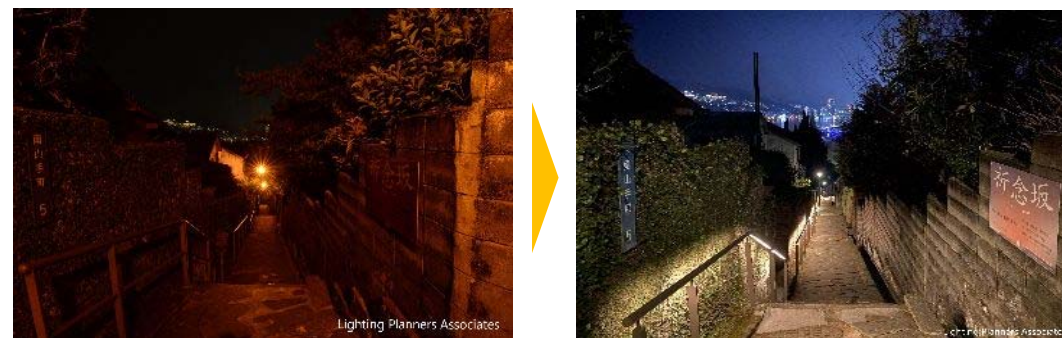


中島川沿い・眼鏡橋(夜間景観の刷新)

■東山手・南山手エリア(まちなかの景観・夜間景観の刷新)



南山手・グラバー園の周辺(広場の整備)

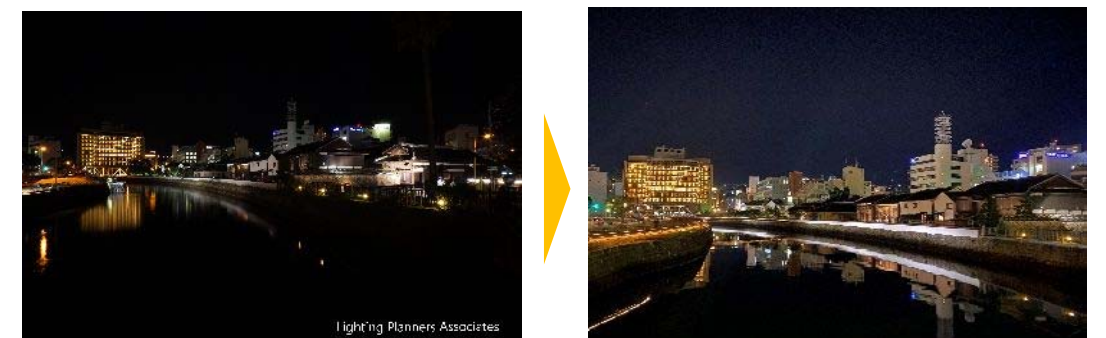


南山手・祈念坂(夜間景観の刷新)

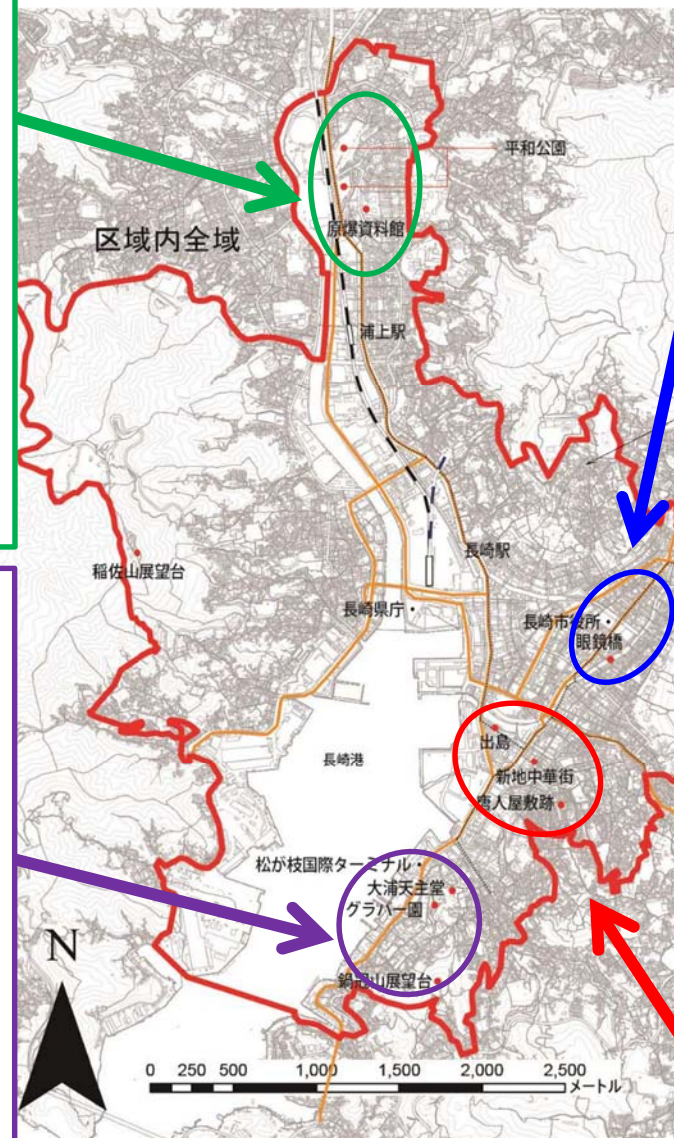
■出島・館内・新地エリア(まちなかの景観・夜間景観の刷新)



唐人屋敷(土神堂塀の修景整備)



出島外壁(夜間景観の刷新)



ページをめくって、事業一覧をご覧ください。

1-2) 市民向けアンケート(調査票)

【調査票】こちらの調査票のみを返信用封筒に入れて、ご投函ください。

こちらのQRコードからでもご回答いただけます→



まず、あなた自身についてお伺いします。

問1 あなたの性別をお答えください。

① 男性 ② 女性 ③ 未回答

問2 あなたの年齢をお答えください。次の①～⑦の中から1つ選び、○を付けてください。

① 19歳以下 ② 20～29歳 ③ 30～39歳 ④ 40～49歳
⑤ 50～59歳 ⑥ 60～69歳 ⑦ 70歳以上

問3 あなたのお住まいはどちらですか。町丁目名をご記入ください。

長崎市

町
丁目

ページをめくって、問4へお進みください



別紙の景観まちづくり刷新事業イメージ図をご覧くださいながら、回答をお願いします。

問4 あなたは長崎市が「景観まちづくり刷新モデル地区」に指定されていたことをご存知ですか。次の①～④の中から1つ選び、○を付けてください。

- ① よく知っている ② 少し知っている
③ あまり知らない ④ 全く知らない

ここからは、仮定の質問です。説明文をよくお読みになったうえでお答えください。

仮の負担金設定の説明文

今回の事業の効果を金額によって評価するために、仮に、観光資源を維持管理する観点から市民の負担金によって維持管理を行う仕組みがあったならと想像してください。この負担金は長崎市に居住する限り、毎月負担していただくことになり、この分だけあなたの世帯で使うことのできるお金が減ることを十分念頭においてお答えください。また、負担金はこの事業により施工した箇所の維持管理（例：舗装の更新費、ライトアップに伴う電気代、照明器具の更新費など）のためにのみ使われ、他の目的には一切使われないこととします。

※これは、あくまでも事業の効果を金額によって評価するために設定した仮定の仕組みであり、実際にこのような仕組みが考えられているわけではありません。

問5 仮に、この事業で刷新された景観を維持するために、あなたの世帯は月額いくらまでなら負担金として支払いますか。次の①～⑨の中から1つ選び、○を付けてください。なお、⑨その他の場合は()内に具体的な金額をお書きください。

- ① 0円 ② 50円 ③ 100円 ④ 300円
⑤ 500円 ⑥ 1,000円 ⑦ 3,000円 ⑧ 5,000円
⑨ その他 (円)

問5で、①をお答えになった方→問6へ

②～⑨をお答えになった方→問7へ

以下の問6・問7はどちらか1問をお答えください。

問6 **問5で選択肢①をお答えになった方**にお伺いします。その理由はなんですか。
①～⑤の中から1つ選び、○を付けてください。なお、⑤その他の場合は()
内にお書きください。

- ① 景観を維持することは賛成だが、負担金を支払う価値はないと思うから。
- ② 負担金がなくても、景観を維持することに反対であるから。
- ③ 負担金を集めるという仕組みに反対であるから。
- ④ これだけの情報では判断できない。
- ⑤ その他 ()

問7 **問5で選択肢②～⑨をお答えになった方**にお伺いします。その理由はなんですか。①～⑤の中から1つ選び、○を付けてください。なお、⑤その他の場合は()内にお書きください。

- ① 観光客が増えて、地域が活性化するから。
- ② いい景観が維持されることにより、快適に暮らせるから。
- ③ 幹線道路の交通渋滞が解消されるから。
- ④ 自分や家族にとって価値はないが、他の世帯も支払うのであれば仕方ないから。
- ⑤ その他 ()

※ご記入いただいた内容については、他の目的に使用することはありません。
また、これによって個人が特定されることはありません。

アンケート へのご協力、ありがとうございました。

② 訪問客向け調査票

2) 訪問客向けアンケート(調査票)

設問は全部で6つあります。

問1 あなたの性別をお答えください。

- ① 男性 ② 女性 ③ 無回答

問2 あなたの年齢をお答えください。次の①～⑦から選択してください。

- ① 19歳以下 ② 20～29歳 ③ 30～39歳 ④ 40～49歳
⑤ 50～59歳 ⑥ 60～69歳 ⑦ 70歳以上

問3 あなたはどちらから来られましたか。次の①～⑪から選択してください。
※外国人の方は国名・地域名を記入してください。

- ① 長崎県内 ② 九州・沖縄地方(長崎県以外)
③ 中国地方 ④ 四国地方 ⑤ 関西地方 ⑥ 東海地方
⑦ 北陸地方 ⑧ 関東・甲信越地方 ⑨ 東北地方 ⑩ 北海道地方
⑪ 海外(国名・地域名:)
⑫ 無回答

以下の設問は、画板にある「景観まちづくり刷新事業」のイメージ図をご覧になりながら、ご回答ください。

問4 あなたは長崎市が「景観まちづくり刷新モデル地区」に指定されたことをご存知ですか。次の①～④の中から1つ選び、○を付けてください。

- ① よく知っている ② 少し知っている
③ あまり知らない ④ 全く知らない

問5 あなたは今後5年間の間に、観光やレジャーを目的に長崎市に何回訪れたいと思いますか。事業を実施する前と後について、それぞれの()内に数字を記入してください。

事業を実施する前	事業を実施した後
今後5年間に () 回	今後5年間に () 回

裏面の問6に続きます

問6 あなたは長崎市を訪れるために利用した主な交通手段と、片道の所要時間・交通費をお答えください(大体の数字でかまいません)。該当するものに○を付け、()内に数字を記入してください。

利用した 主な交通手段	① 飛行機 ② 鉄道 ③ バス ④ 乗用車・レンタカー ⑤ 船舶 ⑥ その他 ()
片道の所要時間	約 () 時間 () 分
片道の交通費	約 () 円
乗車人数 (乗用車・レンタカーの場合)	() 人

※ご回答いただきました内容はデータの集計・分析に使用します。
また。回答したことにより、あなたの個人情報特定されることはありません。

アンケートへのご協力、ありがとうございました！

2.4 本調査の実施状況

2.4 本調査の実施状況

①市民向け

市民向けアンケートは10月9日(水)に2,000通を発送後、QRコードでの回答は10月11日(金)から、紙の調査票は3連休明けの10月15日(火)から返送され始めた。返送された調査票は紙媒体(郵送+手渡し)537通、QRコード176通の合計713通であり、回収率は35.8%である。調査票の返送状況を表4.3および図4.6に示す。なお、発送した調査票のうち10通は宛先不明により返送されたため、実際に届いた調査票は1,990通であり、回収率の分母はこの値とする。

表 2.3 調査票の回収状況

	回収数					回収率	
	郵送	手渡し	QRコード	当日計	累計	当日	累計
10月11日			42	42	42	2.1%	2.1%
10月12日			36	36	78	1.8%	3.9%
10月13日			10	10	88	0.5%	4.4%
10月14日			14	14	102	0.7%	5.1%
10月15日	141	1	12	154	256	7.7%	12.9%
10月16日	47	1	8	56	312	2.8%	15.7%
10月17日	76		4	80	392	4.0%	19.7%
10月18日	44		2	46	438	2.3%	22.0%
10月19日			4	4	442	0.2%	22.2%
10月20日			4	4	446	0.2%	22.4%
10月21日	58		2	60	506	3.0%	25.4%
10月22日	22		5	27	533	1.4%	26.8%
10月23日	21		4	25	558	1.3%	28.0%
10月24日	9		3	12	570	0.6%	28.6%
10月25日	0		0	0	570	0.0%	28.6%
10月26日	12		1	13	583	0.7%	29.3%
10月27日	16		4	20	603	1.0%	30.3%
10月28日	18		1	19	622	1.0%	31.3%
10月29日	10		1	11	633	0.6%	31.8%
10月30日	12		1	13	646	0.7%	32.5%
10月31日	4		0	4	650	0.2%	32.7%
11月1日	5		3	8	658	0.4%	33.1%
11月2日			1	1	659	0.1%	33.1%
11月3日			3	3	662	0.2%	33.3%
11月4日			4	4	666	0.2%	33.5%
11月5日	15		0	15	681	0.8%	34.2%
11月6日	5		0	5	686	0.3%	34.5%
11月7日	8		0	8	694	0.4%	34.9%
11月8日	2		1	3	697	0.2%	35.0%
11月9日	0		2	2	699	0.1%	35.1%
11月10日	0		0	0	699	0.0%	35.1%
それ以降	10		4	14	713	0.7%	35.8%
合計	535	2	176		713		35.8%

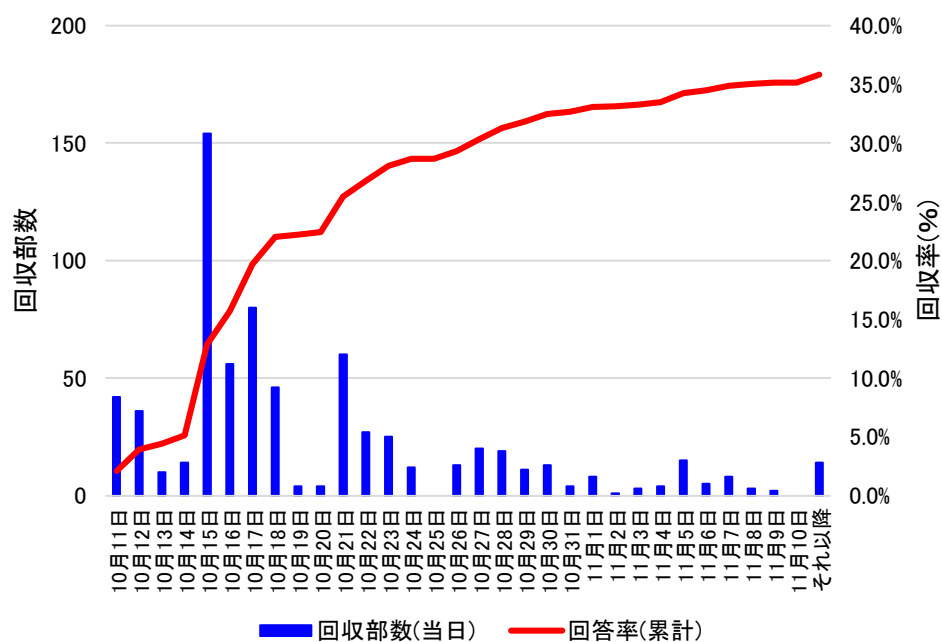


図 2.6 調査票の回収状況

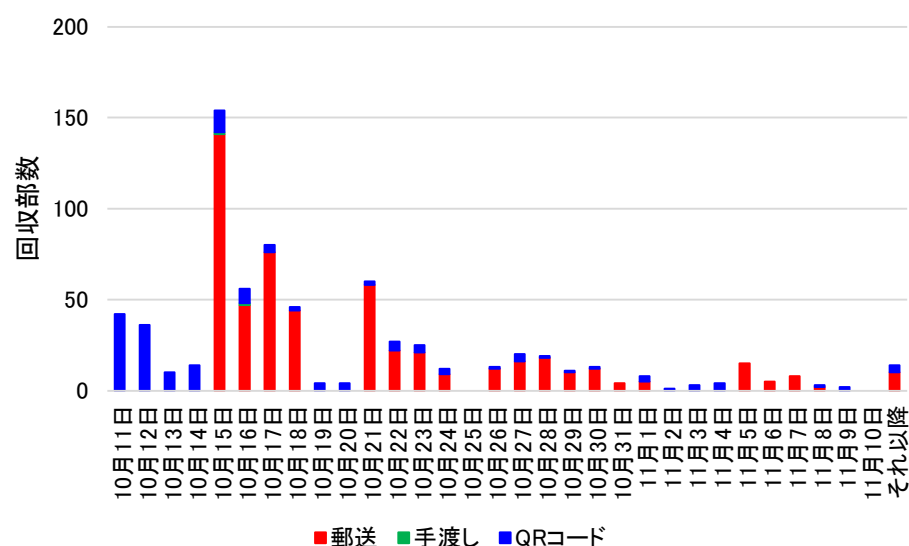


図 2.7 回答方法別の回収状況

表 2.4 市民向けアンケートの回答方法

回答方法	回答数	比率
調査票から回答 (窓口持参の 2 通を含む)	537	75.3%
QR コードから回答	176	24.7%
合 計	713	

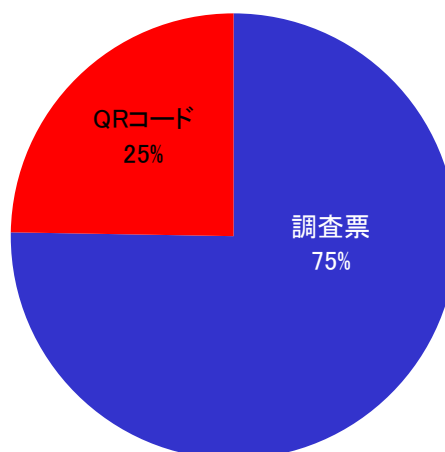


図 2.8 市民向けアンケートの回答方法

表 2.3 および図 2.6、図 2.7 より、到着日直後の回収率が最も高く、時間が経過するに従い、回収部数は減少している。また、週明け(月曜日、3連休明けの火曜日)は回収部数が回復する傾向である。

郵便による配達为原则行われない土日であっても、QR コードからの回答が一定数確認できることから、QR コードを介してアンケートを回答させる方法も有効であると考ええる。しかし、本調査の場合、110 円切手を貼った返信用封筒も調査票と同封したこともあり、返信用封筒を使って回答することを選択した回答者が 75%を占めていた(表 2.4、図 2.8)。

②訪問客向け

訪問客向けアンケートについては、表 2.5 の通り実施した。12 月 12 日までは QR コードを載せたビラを訪問客に配布する方法で実施した。しかし、調査票の回答状況が芳しくないため、12 月 15 日以降は調査票法を中心とし、補助的にビラを配布する形を取った。

表 2.5 観光客向けアンケート調査実施状況

実施日	実施時間	実施場所	有効回答数	無効
11 月 13 日(水)	8:15～ 8:45	大波止ターミナル	63	40
	12:15～13:00			
11 月 14 日(木)	8:15～ 8:45	大波止ターミナル		
	12:15～13:00			
12 月 2 日(月)	12:40～13:10	常盤栈橋前	51	37
	16:50～17:00	プラタナス広場		
12 月 3 日(火)	9:40～10:15	常盤栈橋前		
	11:50～12:00	プラタナス広場		
	12:40～13:10	常盤栈橋前		
	16:50～17:00	プラタナス広場		
12 月 12 日(木)	16:45～18:45	稲佐山展望台		
12 月 15 日(日)	10:00～17:45	稲佐山展望台	55	20
	13:30～15:00	鍋冠山展望台	5	5
12 月 19 日(木)	14:00～17:15	稲佐山展望台	10	10
12 月 20 日(金)	14:00～17:30	稲佐山展望台	31	10
12 月 25 日(水)	14:00～16:45	稲佐山展望台	23	10
12 月 26 日(木)	14:00～17:30	稲佐山展望台	20	10
小 計			258	142
12 月 27 日(金)	14:00～16:30	稲佐山展望台	14	5
1 月 4 日(土)	10:00～11:00	稲佐山展望台	18	5
1 月 5 日(日)	10:00～11:00	稲佐山展望台	17	5
1 月 6 日(木)	10:00～11:00	稲佐山展望台	9	5
1 月 7 日(金)	7:00～14:00	大波止ターミナル	88	10
合 計			404	172

訪問客向けアンケートの回答方法について、次ページの表 2.6 および図 2.9 に示す。その結果、調査票での回答者が 70%を超えており、調査票を用いて直接回答を聴取する方法が有効であり、QR コードを使った回答は補助的に用いるのが良いことが明らかになった。

表 2.6 訪問客向けアンケートの回答方法

回答の方法	回答数	比率
調査票	291	72.0%
QRコード	113	28.0%
合計	404	

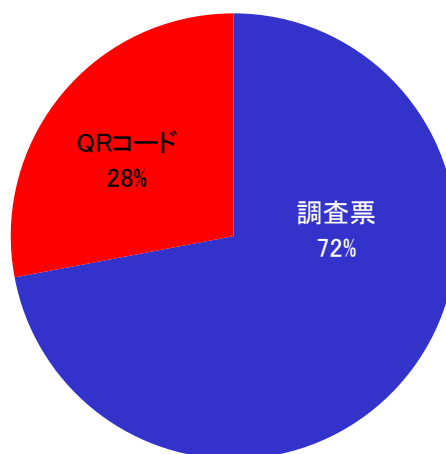


図 2.9 訪問客向けアンケートの回答方法